

2019年1月28日

フィリピン共和国、南北通勤鉄道事業工事の契約調印 － 南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）CP2 工区 －

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、このたびフィリピン共和国で南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）CP2 工区を受注し、1月23日にマニラで契約を調印しました。

調印式には、フィリピン運輸省バタン次官、フィリピン国有鉄道マグノ総裁、予算行政管理省調達庁グジャレス常任理事、JICA フィリピン事務所の和田義郎所長、当社山地斉常務執行役員国際本部副本部長などが出席しました。



【契約調印式の様子】

(左側より)

予算行政管理省調達庁グジャレス常任理事、フィリピン国有鉄道マグノ総裁、フィリピン運輸省バタン次官、当社 山地 斉 常務執行役員国際本部副本部長、JICA フィリピン事務所 和田 義郎 所長、当社 柳瀬 進 国際支店土木部長、当社 中野 数也 国際支店土木営業部営業グループ長

フィリピンは、約 300,000km² の国土に約 1 億 100 万人（世界第 12 位）の人口を抱え、平均年齢が約 24 歳と若く、人口ボーナスも 2045 年頃まで続く見込みで、急速な経済発展を遂げています。中でもマニラ首都圏は、同国最大の経済集積地であり、人口集中も著しく、これに伴う急激な交通需要増大が慢性的な交通渋滞を深刻化させ、貨物物流等にも悪影響を引き起こしています。

南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）CP2 工区は、日本の政府開発援助（ODA）により実施されるプロジェクトで、首都圏マニラ市と周辺都市を南北軸によって結ぶ「南北通勤鉄道計画」のうち、北方のブラカン州マロロス市から首都圏マニラ市ツツバンまでの区間を整備するものです。これにより、マニラ首都圏の交通ネットワークの円滑化が見込まれます。

当プロジェクトは、総延長約 38km の高架型鉄道を建設するもので、その内当社受注の CP2 工区は、北側起点駅（マロロス駅）を含む 3 カ所の駅舎と 14 km の高架橋建設を担当します。

■工事概要

工事名称 : 南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）CP2 工区
発注者 : フィリピン共和国運輸省
設計監理 : オリエンタルコンサルタンツグローバル／片平エンジニアリング・インターナショナル／パシフィックコンサルタンツ／日本コンサルタンツ／トーニチコンサルタント 共同企業体（JV）
施工 : 三井住友建設
請負金額 : 約 539 億円
工期 : 42 カ月
施工場所 : フィリピン共和国 マニラ首都圏
工事概要 : 高架橋－延長 14km、高架駅舎－3 駅

■今後の展開

当社は、1995 年にマニラ駐在員事務所の開設及びブスミコンフィリピンの設立以来、日本の政府開発援助（ODA）事業としてアガスアガス橋の施工実績があり、さらにフィリピン全土で建築・土木工事共に多数の実績を有しています。また 2016 年には、同国に人材開発センター（Human Resource Development Center）を開設し、当社海外拠点で働くローカル社員の育成を行っています。

今後も引き続き同国を安定的市場として営業活動を継続し、経済発展に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目 1 番 6 号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email:information@smcon.co.jp

以 上